

# 町政懇談会の意見・質問

平成28年度の町政懇談会は、地区ごとに7回開催し、62名の町民の方にお集まりいただきました。

まず、町から「町立診療所の新任医師」・「各種補助制度」・「教育行政」・「JR北海道の事業範囲見直し」などについて説明したあと、参加した皆さまと町政全般について懇談し、106件の要望や意見をいただきました。

皆さまからの要望や意見をいくつか抜粋し、掲載いたします。

その他、懇談会にてお答えできなかったものについては、回答がそろいましたら、次号以降の広報誌等でお知らせします。



## 診療所体制について

**Q.** 新任の医師は外科を専門としているとのことだが、幌延町は内科の患者が多い気がする。任用するのであれば、内科専門の医師のほうが良いのでは。

**A.** 専門は外科ですが、長い間地域医療を担当していたので、内科もかなり経験されています。レベルの高い医療を期待できると確信しています。

**Q.** 新任の医師が幌延町へ来て、大変な場所だからと1年で辞めることにはならないか。

**A.** 新任の医師には、幌延町の診療の現状を説明してご理解いただいています。地域医療に対して、本当に志の高い医師ですので、安心して受診いただければと思います。

**Q.** 新任の医師について、任期は決まっているのか。

**A.** 任期は決まっています。まだ52歳と若い医師ですから、町としてはできる限り長い任期を勤めていただきたいと思います。

## 補助制度について

**Q.** LEDの補助制度は、家庭用の照明以外を対象としないのか。

**A.** LED照明が普及されていない

ということから始まった制度なので、現段階では、あくまでも家庭用のみを対象としています。

**Q.** 商工業等振興促進補助制度について、機械や車両の入れ替えができるような制度に緩和してほしい。

**A.** 設備備品、動産については流動性があるので、そういったものに補助金を出すのは難しいです。そのため、設備に付随するものという意味合いで設備備品を追加したのですが、商工会などからご相談やご意見をいただいているところなので、あとは商工会のニーズなども聞きながら、今後の検討課題とさせていただきます。

## 生活交通（JR）について

**Q.** 名寄以北の線路が廃線になるというお考えを持たれているのか、廃線はないとお考えなのか。

**A.** 旭川以北から稚内までの自治体に参加する宗谷本線活性化推進協議会において、宗谷本線を何とかしようという一致団結しています。廃線になるということは念頭におかず、宗谷本線の存続を、引き続きJRだけでなく国や道にも求めいきます。

**Q.** 宗谷本線が廃線になった場合を想定して、代替交通手段としてバス代行等を考えたほうが良いのではないかと。汽車よりも利便性が高くなるのではないかと。

**A.** 道路インフラがしっかりと整備されていない現時点において、代替交通手段をバス代行等に切り替えるのは時期が早いと考えています。国交省にも道路インフラを整備されていない状況で宗谷本線を廃線にしないでほしいとお願いしています。まずは、道路インフラ整備の未計画区間に関して、計画にのせてもらえるよう検討していかなければなりません。

**Q.** 駅を維持するために毎年200万円くらいの負担をするよりは、バスへの転換などを考えたほうが良いのではないかと。

**A.** 皆さまからご意見をいただき、今後どのようにしていけば良いのか考えさせていただきます。

**Q.** 駅を廃止から守るために、本町に町が維持管理費を負担してくれるのか。

**A.** 今、回答することはできません。皆さまのご意見をいただきながら、最終的に判断をしなければ